



# 元気っ子

No.259 ながさわ保育園

平成 31 年 3 月号

園長 市川 温 予

寒い日が続いたと思えば、寒さが緩んで暖かい日もあります。まさに「三寒四温」を繰り返しながら少しずつ春に移り変わっていくのでしょうか。また、私達も寒さのために身体に力が入っていたのがだんだん暖かくなると心身ともにふわっと力が抜けていくのでしょうかね。

さて、平成 30 年度の保育も残り一ヶ月となりました。子ども達も入園、進級してから約一年が経とうとしていますが、一人ひとりが大きく成長していると感じます。

今、保育園では卒園や進級に向けての準備をしています。異年齢クラスは、各年齢別に生活をしています。特にライオン組は就学に向けて、小学校に入学する全段階として生活を基盤とした保育を丁寧に繰り返しています。また、生活経験の豊かさが学校生活にもつながっていきます。いろいろな経験をすることで、様々な力をつけていきます。子育てや教育にこれさえやれば正解というものはありません。

子どもは一人ひとり違いますし、親も一人ひとり違うからです。ささいなことであっても何かが出来るようになったことを親子で喜び合うことが大事だと思います。

うさぎ組(2歳児)も少しずつ異年齢クラスへ入室し、環境に馴染めるようにしています。2歳児がいることによって3,4歳児はお兄ちゃんお姉ちゃんぶりを発揮しています。今まで年長さんに優しくしてもらったり、助けてもらったことを体で覚え、自分の中に取り込んでいるので、きっと2歳児さんのことを気にかけていろいろとお世話をしてくれると思います。自分や親とは違う世代の人達と触れ合うことで相手の生き方を知ったり、生きる知恵を学ぶことも可能です。このようにいろんな年齢が混ざって生活することによっていろんな感情体験や感動体験、また人間関係のトレーニングができ、これから生きていく上で必ずプラスになると私は信じています。

4月になったら子ども達はひとつずつ年齢が上がります。特にりす組は2階から1階のうさぎ組の部屋に、うさぎ組は異年齢クラスへと住環境が大きく変わります。子ども達にとっては、部屋が変わり、友達が変わり、担任が変わることで、不安になったり戸惑ったりする子もいますので、3月は緩やかな進級のための移行期間として少しずつ新しい環境に馴染んでいけるようにしていきたいと思っています。

今年度もあとわずかですが、事故のないように子ども達も先生達も元気に楽しくゆっくと過ごしてほしいと思っています。

